

# 雄冬漁港島防波堤の背後小段について

---

留萌開発建設部 留萌港湾事務所  
第2工務課 寺田 卓史

# 雄冬漁港島防波堤の背後小段について

## 第4種 雄冬漁港



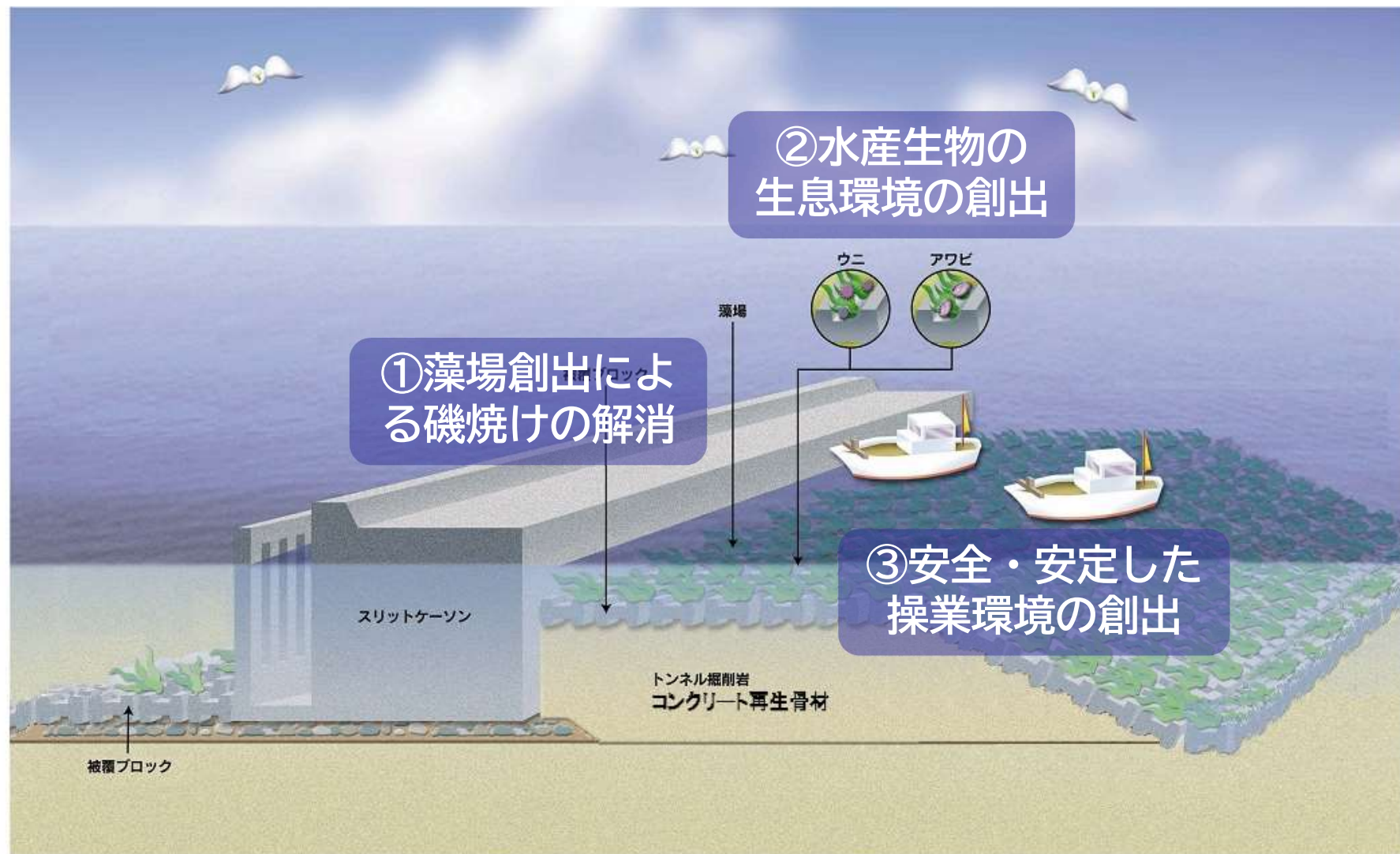
島防波堤



磯焼けの状況



# 雄冬漁港島防波堤の背後小段について



## 自然調和型漁港づくり事業

○雄冬漁港 島防波堤

○整備期間：平成15年～平成22年

○延長：120m

# 雄冬漁港島防波堤の背後小段について

島防波堤背後小段造成に使用する盛土材



トンネル掘削岩



トンネル掘削岩(拡大)



基礎ブロック



基礎ブロック(破碎後)





## 島防波堤背後小段の藻場創出状況



## 島防波堤背後小段の藻場創出状況



平成22年6月撮影

## 島防波堤背後小段の藻場創出状況



繁茂していた藻場が喪失

平成24年11月撮影

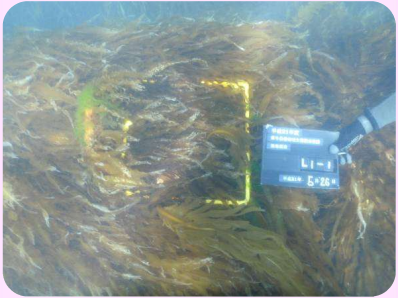
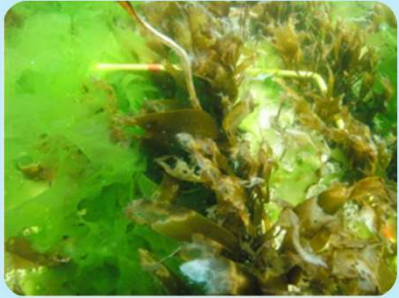




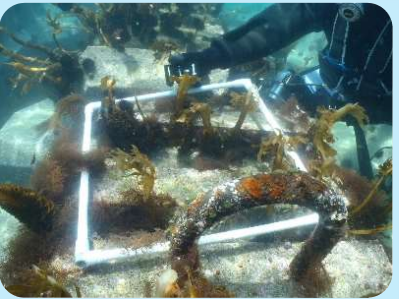



# 雄冬漁港島防波堤の背後小段について

繁茂

藻場の喪失

繁茂

	春季	夏季	秋季	冬季
H21d				
H22d				
H23d	調査未実施			
H24d				

繁茂量は年々減少

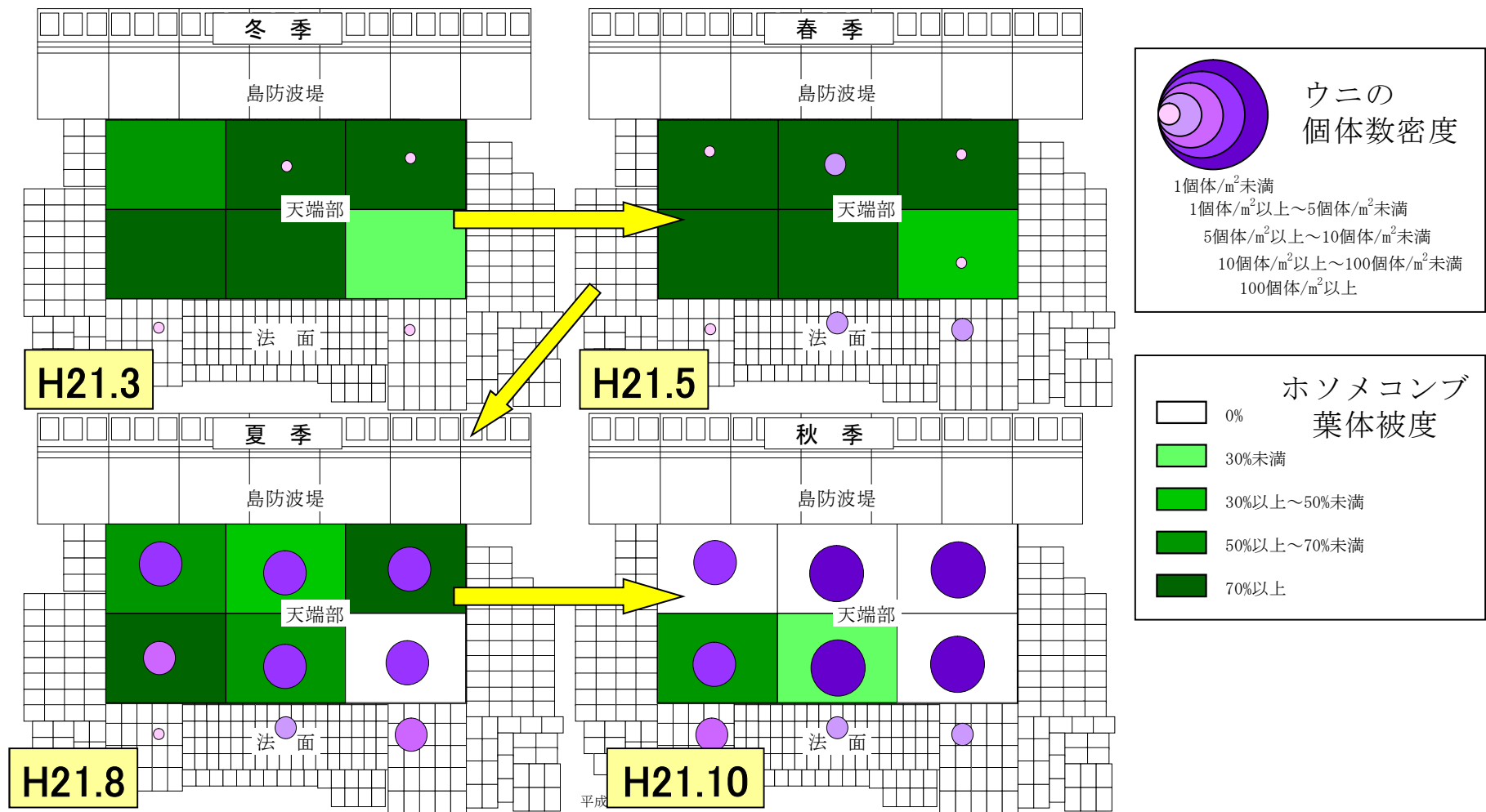


## 平成24年度 藻場調査状況（ウニによる食害）



# 雄冬漁港島防波堤の背後小段について

- ホソメコンブは2月頃から着生し、春季に最繁茂となる。その後衰退し、秋に一部を残してほぼ消失。



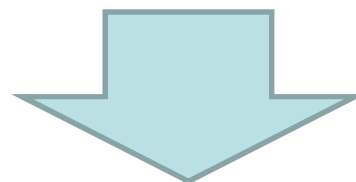


## 島防波堤背後小段に継続してコンブが繁茂しない原因の考察

年々、ホソメコンブの繁茂量が減少し  
継続してホソメコンブが繁茂しない



- ・ウニの個体数が多く、食害によりコンブの数量が減少
- ・夏から秋にかけて、ウニの摂餌が増加することにより、ホソメコンブの遊走子の放出前にコンブが無くなってしまいう



**ウニの食害を減らす・防止する対策が必要**

# 雄冬漁港島防波堤の背後小段について

継続して藻場を創出するための対策

①ウニの移植

②ウニの進入防止

炭素固定量の多い海藻を繁茂させるための対策

①雑海藻の駆除

継続したメンテナンスが必要

令和4年10月撮影



## ウニ移植等の対策を漁業者が実施する事による効果

水産生物の生息環境創出による漁獲機会の増加

環境創出と種苗放流による漁獲の安定

ウニの実入りの向上

漁業収益の向上

## 雄冬地区が抱える課題

集落の人口減少

漁業者の減少

漁業者の高齢化

ウニの移植・雑海藻駆除に取り組む人材確保ができない

**ブルーカーボンを実施する環境あり  
イニシャルコストを抑えられる  
フィールドの有効活用検討**

## 藻場の保全・創造のための取り組みへの支援

### ■ 公共事業（水産基盤整備事業）

- 水産環境整備事業（藻場の造成を支援）
- 水産資源を育む水産環境保全・創造事業（平成28年度～）  
（藻場の造成と併せて、食害生物対策、海藻類の移植・播種等の実施を支援）



藻場礁（食害防止フェンス）



藻場礁（海藻の着底基質）



### ■ 非公共事業

- 水産多面的機能発揮対策事業（平成25年度～令和7年度）  
（漁業者等が行う藻場保全のための活動を支援）



食植魚類（イスズミ）の駆除



ウニの除去



母藻の設置



ご清聴ありがとうございました。